



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月29日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス

上場取引所 東

コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長兼内部統制室長 (氏名) 山田 力也

TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	77,983	3.6	6,935	10.5	7,251	9.3	4,153	7.0
29年3月期第3四半期	75,247	4.9	6,276	△3.1	6,631	0.1	3,882	4.4

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 4,956百万円 (7.3%) 29年3月期第3四半期 4,619百万円 (6.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	218.54	—
29年3月期第3四半期	204.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	111,233	57,106	45.2
29年3月期	109,725	53,078	42.6

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 50,280百万円 29年3月期 46,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年3月期	—	22.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	5.9	9,800	23.3	10,000	18.8	5,700	12.8	299.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	19,012,000 株	29年3月期	19,012,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	6,490 株	29年3月期	6,382 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	19,005,558 株	29年3月期3Q	19,005,639 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により一部企業において収益・雇用情勢・所得環境の緩やかな回復基調が続いているものの、欧米の政治情勢や地政学的リスクの高まり等の影響が見られました。

当業界におきましても、軽油価格の高騰や人手不足等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第3四半期連結累計期間は、営業収益779億83百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益69億35百万円（同10.5%増）、経常利益72億51百万円（同9.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益41億53百万円（同7.0%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、393億72百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は、45億1百万円（同12.6%増）となりました。

増収増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

新規受託の概況につきましては、12社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した3社を含めた15社のうち15社稼働しております。

物流センターの総数は、103センターとなりました。（前連結会計年度末比8センター増加）

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取組んでまいります。

(貨物自動車運送事業)

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、386億11百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益24億28百万円（同6.8%増）となりました。

営業収益につきましては、前年同期比20億5百万円増加いたしました。増収の主な要因は、第3四半期以降の物量の増加と同業他社との取引の拡大、前連結会計年度に連結子会社を取得したことによるものであります。

営業利益につきましては、燃料単価上昇による燃料費の増加と外注費の増加等による影響はあったものの、物量増加等に伴う営業収益の増加により、前年同期比1億54百万円増加いたしました。

今後につきましては、特別積合事業において、運賃値上げの交渉を引続き実施してまいります。また、平成30年2月より愛知県弥富市にて4ヶ所目となる同業他社との施設の共同利用及び配送を開始いたします。今後も同業他社との取引を拡大し、業務の効率化を進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当企業グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比15億7百万円増加し、1,112億33百万円となりました。これは主に、設備投資により固定資産が15億43百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比25億19百万円減少し、541億27百万円となりました。これは主に、借入金の返済が進んだことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比40億27百万円増加し、571億6百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益41億53百万円の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の42.6%から45.2%へと増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績見通しといたしましては、営業収益1,050億円（前年同期比5.9%増）、営業利益98億円（同23.3%増）、経常利益は100億円（同18.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益57億円（同12.8%増）を見込んでおります。

なお、軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間34百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,314	7,150
受取手形及び売掛金	12,815	14,775
商品	19	13
貯蔵品	97	102
その他	1,451	1,625
貸倒引当金	△30	△36
流動資産合計	23,667	23,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,492	30,206
土地	39,614	40,530
その他(純額)	10,586	10,436
有形固定資産合計	79,694	81,173
無形固定資産	2,045	2,086
投資その他の資産	4,318	4,341
固定資産合計	86,058	87,601
資産合計	109,725	111,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,038	6,897
短期借入金	19,221	17,816
未払法人税等	1,221	1,048
賞与引当金	801	477
役員賞与引当金	34	37
厚生年金基金解散損失引当金	6	-
その他	6,821	7,333
流動負債合計	34,146	33,610
固定負債		
長期借入金	9,000	7,375
退職給付に係る負債	5,656	5,776
厚生年金基金解散損失引当金	42	42
その他	7,801	7,322
固定負債合計	22,500	20,516
負債合計	56,647	54,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,466	6,466
利益剰余金	33,794	37,140
自己株式	△9	△9
株主資本合計	46,799	50,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251	364
退職給付に係る調整累計額	△264	△228
その他の包括利益累計額合計	△12	136
非支配株主持分	6,291	6,825
純資産合計	53,078	57,106
負債純資産合計	109,725	111,233

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益	75,247	77,983
営業原価	67,192	69,136
営業総利益	8,054	8,846
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	3	43
役員報酬	420	441
給料及び手当	363	371
賞与引当金繰入額	42	48
役員賞与引当金繰入額	20	34
退職給付費用	19	17
その他	908	954
販売費及び一般管理費合計	1,778	1,911
営業利益	6,276	6,935
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	31
固定資産売却益	80	104
助成金収入	154	60
売電収入	303	316
雑収入	216	218
営業外収益合計	785	731
営業外費用		
支払利息	168	149
売電原価	197	191
雑損失	63	75
営業外費用合計	429	416
経常利益	6,631	7,251
特別利益		
固定資産売却益	39	-
投資有価証券売却益	19	-
関係会社株式売却益	45	-
特別利益合計	105	-
特別損失		
固定資産除却損	-	32
減損損失	26	43
物流センター移転閉鎖損失	45	110
損害賠償金	51	-
子会社移転費用	61	-
特別損失合計	184	186
税金等調整前四半期純利益	6,551	7,064
法人税、住民税及び事業税	1,857	2,174
法人税等調整額	221	107
法人税等合計	2,078	2,282
四半期純利益	4,473	4,781
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,882	4,153
非支配株主に帰属する四半期純利益	591	627

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	128
退職給付に係る調整額	44	46
その他の包括利益合計	145	175
四半期包括利益	4,619	4,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,980	4,302
非支配株主に係る四半期包括利益	639	654

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	38,641	36,605	75,247	-	75,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	98	1,485	1,583	△1,583	-
計	38,740	38,090	76,831	△1,583	75,247
セグメント利益	3,998	2,273	6,271	4	6,276

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「貨物自動車運送事業」セグメントにおいて、継続的な地価下落により収益性が著しく低下した近物レックス(株)(連結子会社)の一部の賃貸地の固定資産について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において26百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	39,372	38,611	77,983	-	77,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	107	1,509	1,617	△1,617	-
計	39,479	40,120	79,600	△1,617	77,983
セグメント利益	4,501	2,428	6,929	5	6,935

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「物流センター事業」セグメントにおいて、使用用途の変更により一部の固定資産について減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において43百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。